



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 クラリオン株式会社
コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 泉 龍彦
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 広報担当 (氏名) 吉峰 徹郎

TEL 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	80,416	△13.8	2,417	5.3	2,278	23.2	1,725	64.6
23年3月期第2四半期	93,318	9.4	2,296	—	1,849	—	1,048	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 213百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △823百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	6.12	—	
23年3月期第2四半期	3.72	—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	100,745	9,121	8.7	31.17
23年3月期	103,769	8,728	8.2	30.27

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,787百万円 23年3月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△1.9	5,300	7.4	4,500	8.4	3,500	153.1	12.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) ― 、除外 ―社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	282,744,185 株	23年3月期	282,744,185 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	797,953 株	23年3月期	792,769 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	281,948,605 株	23年3月期2Q	281,967,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧に伴うサプライチェーンの回復及び公共投資等の復興需要による消費マインドの改善は見られましたが、急速な円高は輸出企業の収益を圧迫しており、景気回復への足取りを重くしております。米国では、ガソリン価格の高騰等を背景に個人消費が伸び悩み、失業率も高止まりしております。欧州では、財政・金融危機により株価やユーロが弱含んでおり、景気の先行きは不透明なままです。中国を中心とした新興国においても、インフレ抑制による金融引き締め策によりGDPの伸びが鈍化する傾向にあります。

このような状況下において当社グループは、生産・販売プロセスの効率化に向けてSCM（サプライチェーン・マネジメント）改革を全社一丸となって取組むなど、需要の確実なキャッチアップ並びに機会損失とロスコストの発生の抑止による利益確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、東日本大震災に起因する部品供給問題が改善し、自動車メーカーの車両生産台数も回復基調にはあるものの、日本国内における新車販売台数が前年同期比で大幅に減少するなか、円高の進行による販売金額の減少等もあり、連結売上高は804億16百万円と前第2四半期連結累計期間比13.8%の減収となりました。

損益面につきましては、変動費低減活動の継続的な推進及び徹底した固定費の発生抑止に努めました結果、連結営業利益は24億17百万円と前第2四半期連結累計期間比5.3%の増益となりました。また、営業外収支の改善により連結経常利益は22億78百万円と前第2四半期連結累計期間比23.2%の増益となりました。さらに税金費用等を控除し、17億25百万円の連結四半期純利益を計上、前第2四半期連結累計期間比64.6%の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(日本)

国内経済は、東日本大震災からの復旧とともに企業の生産活動や個人消費には回復の兆しが見られましたが、長引く円高は輸出企業の収益を圧迫しており、景気回復への足取りを重くしております。

自動車業界におきましては、部品メーカーの被災影響等により大幅に生産が減少したため、4～9月における国内新車販売台数は前年同期比24%の減少となるなど、当社グループにとって厳しい状況が続いております。

業績につきましては、東日本大震災による新車販売台数の落ち込み等の影響により、セグメント売上高は432億12百万円と前第2四半期連結累計期間比13.3%の減収となりました。

損益面につきましては、変動費比率の改善及び固定費の削減効果により、セグメント利益は19億2百万円と前第2四半期連結累計期間比54.5%の増益となりました。

(米州)

米国における4～9月の新車販売台数は前年同期を上回っているものの、欧州における財政・金融危機による混乱、高止まりしている失業率及びガソリン価格の高騰等を背景に個人消費の伸び悩みが見られ、米国経済の減速感が鮮明となってきております。

業績につきましては、震災に伴う部品供給問題に起因した販売単価の安い製品への切り替え等の影響により、セグメント売上高は251億59百万円と前第2四半期連結累計期間比17.4%の減収となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、減収の影響によりセグメント利益は6億51百万円と前第2四半期連結累計期間比43.5%の減益となりました。

(欧州)

ユーロ圏の経済は、米国や中国の景気減速による輸出伸び悩みのほか、ギリシャに端を発する財政・金融危機の深刻化により、株価やユーロが弱含みで推移しており、景気の先行きは不透明なままであります。

業績につきましては、市販市場向けの売上は好調に推移いたしました。OEM（相手先ブランドによる生産）市場向けの売上減少により、セグメント売上高は55億37百万円と前第2四半期連結累計期間比7.5%の減収となりました。

損益面につきましては、3百万円のセグメント利益と前第2四半期連結累計期間比93.2%の減益となりました。

(アジア・豪州)

国内の投資拡大に支えられて高い経済成長率を遂げてきた中国経済は、依然高水準の成長を維持しているものの、欧州の財政・金融危機や国内のインフレ抑制に向けた金融引き締め策により、3四半期連続でGDPの伸び率は鈍化しております。他のアジア新興諸国においても総じて同様の傾向にあります。

業績につきましては、中国OEM市場への売上の伸び悩み等により、セグメント売上高は65億6百万円と前第2四半期連結累計期間比7.4%の減収となりました。

損益面につきましては、売上減収により55百万円のセグメント損失となりましたが、販売費及び一般管理費の削減等により前第2四半期連結累計期間より損失幅は改善されました（前第2四半期連結累計期間は1億2百万円のセグメント損失）。

なお、上記セグメント売上高は外部顧客に対するものであり、セグメント利益又は損失は、営業利益又は損失であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較し30億24百万円減少し、1,007億45百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産は増加しましたが、短期貸付金並びに現金及び預金の減少等によるものであります。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較し34億17百万円減少し、916億23百万円となりました。

純資産につきましては、円高影響により為替換算調整勘定が減少したものの、連結四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比較し3億93百万円増加し、91億21百万円となりました。自己資本比率は8.7%で、前連結会計年度末と比較して、0.5ポイント増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は35億57百万円（前第2四半期連結会計期間末残高は103億56百万円）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益の計上はありましたが、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等により、19億43百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は36億32百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期貸付金の回収等はありませんでしたが、生産設備等の有形固定資産及びソフトウェア等の無形固定資産の取得等で、14億20百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は15億87百万円の支出）となりました。その結果、フリー・キャッシュ・フローは33億63百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は20億45百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、3億62百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は14億32百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結売上高は、タイにおける洪水に起因する部品供給問題により、平成23年6月8日に公表いたしました前回業績予想を下回る見込みであります。

各段階利益につきましては、変動費及び固定費の改善活動等により、前回業績予想を上回る見込みであり、通期の連結業績予想の見直しを行います。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	176,500	3,500	2,000	1,200	4円 26銭
今回発表予想(B)	175,000	5,300	4,500	3,500	12円 41銭
増減額(B-A)	△1,500	1,800	2,500	2,300	
増減率(%)	△0.8	51.4	125.0	191.7	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	178,318	4,936	4,153	1,383	4円 90銭

なお、当社のグループ会社において、この洪水による直接的な物的被害及び人的被害は、現時点においては発生していませんが、災害の長期化及びサプライチェーンの回復の遅れ等により、当社グループの業績に更なる重大な影響が発生すると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用につきましては、主に当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

連結の範囲に関する事項の変更

① 連結の範囲の変更

前連結会計年度において非連結子会社でありましたClarion Asia (Thailand) Co., Ltd. (旧社名:Siam CM Electronics Co., Ltd.) は、株式の追加取得に伴い第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

② 変更後の連結子会社の数

21社

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,421	3,558
受取手形及び売掛金	24,931	25,708
商品及び製品	11,996	12,989
仕掛品	859	1,053
原材料及び貯蔵品	7,971	8,939
その他	7,777	6,053
貸倒引当金	△277	△230
流動資産合計	60,679	58,071
固定資産		
有形固定資産	21,987	21,873
無形固定資産		
のれん	5,483	5,025
ソフトウェア	9,799	10,270
その他	618	645
無形固定資産合計	15,901	15,941
投資その他の資産	5,200	4,859
固定資産合計	43,089	42,674
資産合計	103,769	100,745
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,704	21,928
短期借入金	20,643	601
未払法人税等	697	567
賞与引当金	1,779	1,753
製品保証引当金	417	383
災害損失引当金	384	213
その他	13,286	12,002
流動負債合計	60,913	37,448
固定負債		
長期借入金	20,717	40,552
退職給付引当金	9,874	10,010
役員退職慰労引当金	194	194
製品保証引当金	375	394
その他	2,964	3,023
固定負債合計	34,127	54,175
負債合計	95,041	91,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,100	26,100
資本剰余金	2,669	2,669
利益剰余金	△10,335	△8,609
自己株式	△124	△124
株主資本合計	18,310	20,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	115
繰延ヘッジ損益	△7	0
土地再評価差額金	939	939
為替換算調整勘定	△10,803	△12,302
その他の包括利益累計額合計	△9,775	△11,247
少数株主持分	194	334
純資産合計	8,728	9,121
負債純資産合計	103,769	100,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	93,318	80,416
売上原価	78,641	67,278
売上総利益	14,676	13,138
販売費及び一般管理費	12,380	10,720
営業利益	2,296	2,417
営業外収益		
受取利息	35	33
受取配当金	11	11
持分法による投資利益	34	112
為替差益	—	107
その他	133	174
営業外収益合計	214	438
営業外費用		
支払利息	324	268
為替差損	130	—
その他	207	309
営業外費用合計	661	577
経常利益	1,849	2,278
特別利益		
固定資産売却益	41	21
補助金収入	28	43
その他	20	8
特別利益合計	90	73
特別損失		
固定資産売却損	6	1
固定資産除却損	87	42
投資有価証券評価損	—	119
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
事務所移転費用等	16	5
その他	26	22
特別損失合計	248	191
税金等調整前四半期純利益	1,691	2,160
法人税、住民税及び事業税	571	414
法人税等調整額	68	18
法人税等合計	639	433
少数株主損益調整前四半期純利益	1,052	1,727
少数株主利益	4	2
四半期純利益	1,048	1,725

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,052	1,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	19
繰延ヘッジ損益	△22	8
為替換算調整勘定	△1,791	△1,402
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	△138
その他の包括利益合計	△1,876	△1,513
四半期包括利益	△823	213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△819	253
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,691	2,160
減価償却費	3,556	3,190
のれん償却額	457	472
持分法による投資損益(△は益)	△34	△112
投資有価証券評価損益(△は益)	—	119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△74	△49
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△178	139
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△79	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△43	△14
受取利息及び受取配当金	△47	△44
支払利息	324	268
為替差損益(△は益)	△204	△228
固定資産売却損益(△は益)	△35	△19
固定資産除却損	87	42
売上債権の増減額(△は増加)	△3,545	△1,389
たな卸資産の増減額(△は増加)	△895	△2,688
仕入債務の増減額(△は減少)	1,362	△1,571
その他	2,343	△1,389
小計	4,685	△1,112
利息及び配当金の受取額	47	69
利息の支払額	△330	△270
法人税等の支払額	△769	△630
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,632	△1,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1
有形固定資産の取得による支出	△657	△1,260
有形固定資産の売却による収入	72	1,000
無形固定資産の取得による支出	△1,645	△2,242
投資有価証券の取得による支出	△12	△14
投資有価証券の売却による収入	24	23
貸付けによる支出	△5,417	△3,670
貸付金の回収による収入	6,048	4,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,587	△1,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△149	△20,148
リース債務の返済による支出	△281	△249
少数株主からの払込みによる収入	—	35
自己株式の取得による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,432	△362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△449	△291
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	163	△4,018
現金及び現金同等物の期首残高	10,192	7,421
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	154
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,356	3,557

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,835	30,463	5,989	7,029	93,318	—	93,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,087	315	85	14,181	37,669	△ 37,669	—
計	72,922	30,779	6,074	21,211	130,988	△ 37,669	93,318
セグメント利益又は損失 (△)	1,231	1,153	47	△ 102	2,329	△ 33	2,296

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△33百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,212	25,159	5,537	6,506	80,416	—	80,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,663	286	91	12,850	31,893	△ 31,893	—
計	61,876	25,446	5,629	19,356	112,309	△ 31,893	80,416
セグメント利益又は損失 (△)	1,902	651	3	△ 55	2,502	△ 84	2,417

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△84百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。